



1月12日、新年のはじまりを祝う『新春の集い』がジョイジョグらで開催され、150名の参加者がともに平成30年の門出を祝いました。会場では、工藤町長や内田尊之道議会議員、小林敏克檜山振興局長が挨拶し、その中では、今年予定されている道の駅もんじゅのリニューアルオーブンやスポーツセンターの完成、ラウンドアバウト交差点といった新たな取組を紹介したほか、自然災害対策など、今年も充実した一年を送るために一年丸となつて取り組んでいく必要があるとのお話をありました。また、石澤議長の乾杯の発声とともに始まつた歓談の席では、まちを支える様々な世代が、地域をどう活性化させてゆくか、これから1年の1年をどう過ごし充実させていくかなど、平成最後の一年のはじまりを祝う集いは、多くの参加者の熱気に溢っていました。

平成最後の年のはじまり



土田君は、今年の北海道警察官採用試験に合格し、春からは警察官として働くことが決まっており、江差警察署では若い人の目線から正しい110番の広報活動を行つてほしいと企画が立ち上がり、これから新たに警察官となる土田君に白羽の矢が立つたとのことです。

土田君は、署内で110番の模擬電話対応で正しい聴取の仕方を学ぶと、ショッピング小林前などで「緊急時は110番、緊急でないお問い合わせやご相談などは#9-110へ」と110番の効率的な利用の呼び掛けや資料の手渡し配布を行いました。

土田君は、パトカーや白バイに憧れて警察官を志したことから、現在、交通事故ゼロ連続3500件へ記録を更新中の本町にも、いつか貢献したいと話していました。

1月14日、上ノ国高校3年生の土田浩也君が江差警察署の一日署長に就任し、110番の正しいかけ方などの街頭啓発活動を町内外で行いました。

上ノ国高校生が1日署長

はあります。3年目にして初めて手にした全道への切符に試合を終えた選手の表情には喜び情には喜びと新たな挑戦への気迫がにじみ出していました



渡島檜山管内から38チームが参加したこの大会は、全道への切符をかけて全てのチームが全力で挑む道南最大規模の中学生フットサル大会で、CORAZON FCは予選リーグを1位で突破し、決勝トーナメントも常に2点差以上で勝ち続けるなど、道南の強豪チームとして力強い試合を見せました。

決勝では、奇しくも12月の地元大会決勝で接戦の末に勝利した強豪・せたなどの対戦となり、試合は開始直後から力のあるチーム同士の拮抗した試合が展開され、観客席から見守る親御さん等も大きく沸きましたが、わずかながら力不足2対1の僅差で破れました。

道選手権2018(U-14)函館地区予選大会が函館市で開催され、本町と江差町合同の中学生カテゴリー、U-14で、FC『CORAZON FC』が、見事優勝を飾りました。



1月中旬、ネット上からふるさと寄附が利用できるサイト『ふるぽ』において、小安在地区で農業を営む刀祢哉さんのアスパラガスが野菜の部の全国ランキング1位に輝きました。

ふるぽとは、ふるさと寄附を支援する大手ポータルサイトの一つで、寄附をすることでポイントを獲得し、そのポイントで好きな時期に好きな特産品と交換できることが魅力です。

アスパラガスは4月頃からの出荷となるため、昨年末から事前予約を開始し、1月半ばには生産予定数を上回る注文を受け、早々に在庫切れとなりました。

本町ではアスパラガスのほかに、も、橘水産のウニや小砂子の若手漁業者が養殖するアワビなど、多く特産品が好評で、毎年全国から寄附が集まり、私達の生活に還元されています。

本町の返礼品は大変魅力的です。本町の外にいらつしやいましたら、是非上ノ国へのふるさと寄附をおすめください。

刀妹さんのアスパラが全国1位